

ベルフォート・アカデミーオブビューティ

自己評価報告書

(平成30年度)

学校法人まこと学園

ベルフォート・アカデミーオブビューティ

1.学校の教育目標

【校訓】

至誠一貫

【教育目標】

- ①学生一人一人に目を向けた教育に努め、学生は学習を通して成功体験を積み重ねることができる。
- ②プロに一番近い即戦力を身につけた、将来の美容業界を担う人材を育成する。
- ③国家試験合格、就職率100%。
- ④美容を通して喜びを伝えることができ、社会から必要とされる人間を育成する。
- ⑤美の最先端の技術、サービス、マナーを身につけた海外でも活躍でき、お客様から愛されるスペシャリストを育成する。

評価基準

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(1)教育理念・目標

評価項目	自己評価
○学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4
○学校における職業教育の特色は何か。	3
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。	3
○学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。	3
○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

①課題

具体的な将来像が見えにくい。

②今後の改善方策

人員計画や学生募集計画等を踏まえた長期経営計画のもと、将来像を明確にしていく。

(2)学校運営

評価項目	自己評価
○目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3
○運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
○人事・給与に関する規程等は整備されているか。	3
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3
○教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

①課題

規程の整備はされているが、時代に即した定期的な見直しが必要でないか。

②今後の改善方策

長期経営計画を明確にし、資金の確保を確実にやっていく。

(3)教育活動

評価項目	自己評価
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3
○学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3
○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3
○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3
○関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3
○授業評価の実施・評価体制はあるか。	3
○職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3
○成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3
○資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3
○人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3
○関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
○関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	3
○職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3

①課題

カリキュラムや成績表など学生評価基準などは、全体的な見直しが必要ではないか。
シラバスの活用。

②今後の改善方策

教職員の外部研修の機会を増やし、教育課程編成を体系的に学び直す。
パソコンなどを活用した授業展開。

(4)学習成果

評価項目	自己評価
○就職率の向上が図られているか。	3
○資格取得率の向上が図られているか。	3
○退学率の低減が図られているか。	3
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2

①課題

国家試験合格率。退学者を減らすための方策。担任教員の負担の軽減。

国家試験対策チームなどを立ち上げ、安定した合格率を出せる仕組みを作る。
スクールカウンセラー等専門家を置くことも検討。

(5)学生支援

評価項目	自己評価
○進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3
○学生相談に関する体制は整備されているか。	3
○学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3
○学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
○課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3
○学生の生活環境への支援は行われているか。	3
○保護者と適切に連携しているか。	3
○卒業生への支援体制はあるか。	2
○社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3
○高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	2

①課題

保護者、学生のニーズにこたえられていない面がある。

②今後の改善方策

ダブル担任制など、教員の負担軽減策を取る。保護者が安心して相談できる環境を整備する。

(6)教育環境

評価項目	自己評価
○施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2
○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3
○防災に対する体制は整備されているか。	2

①課題

教材の不足や防災意識。

②今後の改善方策

物を大切にすることの教育をしっかりとる。
防災対策として、在校時に災害が発生した場合の避難場所の確認と保護者への周知。備蓄。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	自己評価
○学生募集活動は、適正に行われているか。	4
○学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3
○学納金は妥当なものとなっているか。	3

①課題

学生募集時と入学後のギャップを感じている学生や保護者がいらっしゃることへの対応。

②今後の改善方策

保護者アンケートや学生アンケートの内容の見直しと、改善すべき点の優先順位を付ける。
保護者や学生に対し、教育理念や指導方針を丁寧に説明していく。

(8)財務

評価項目	自己評価
○長中期的な学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3
○財務について会計監査が適正に行われているか。	3
○財務情報公開の体制整備はできているか。	2

①課題

学生の確保。

②今後の改善方策

少子化に対応した長中期的、具体的な学生募集計画の作成と、長中期的経営計画の作成と定期的かつ細やかな見直し。

(9)法令等の遵守

評価項目	自己評価
○法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。	3
○個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	3
○自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3
○自己評価結果を公開しているか。	3

①課題

所轄官庁への届出の遅延が見られた。

②今後の改善方策

届出時期の再確認。